

第1回 COLS考古学フォーラム &
長野県考古学会 藤森賞第50回記念フォーラム (共同開催)

植物考古学など自然科学的分析
手法が活況を呈している。
しかし、それで縄文時代の理解は
深まっているのだろうか。
藤森栄一の縄文農耕論を題材とし
て、先史考古学の役割を考える。

植物考古学と 先史考古学の役割

講師：
勅使河原 彰

— 藤森栄一の縄文農耕論を題材に —

2026.4.19 SUN 14:00-15:30

講師紹介

勅使河原 彰

明治大学考古学専攻卒
文化財保存全国協議会常任委員
「第2回尖石縄文文化賞」「第13回藤森栄一賞」「第25
回和島誠一賞」受賞。
著書 『縄文時代を知るための110問題』『縄文時代
史』『シリーズ遺跡を学ぶ別冊03 ビジュアル版 縄文
時代ガイドブック』『シリーズ遺跡を学ぶ004 原始集
落を掘る 尖石遺跡』(新泉社) ほか多数



- ◎日 時 _____ 4月19日(日) 14:00~15:30
- ◎場 所 _____ 明治大学グローバルフロント 4021教室
- ◎お申込不要 *教室定員100名先着



■主催
明治大学黒耀石研究センター
長野県考古学会



会場はこちら

お問い合わせ
Tel: 03-3296-4424 ※火曜日・金曜日のみ
Email: meiji.cols@gmail.com

